

研究課題名	根治切除不能な腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測因子の検討
研究の意義・目的	根治切除不能な(癌を全て切除することが不能な)腎細胞癌に対する、全身治療の治療効果や予期される有害事象発生と関連する因子を臨床病理学的解析で同定することを目指します。これにより、根治切除不能な腎細胞癌の各患者さんに対し、最適な治療選択を行える可能性があります。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2016年4月～2021年3月に大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で、根治切除不能な(癌を全て切除することが不能な)腎細胞癌と診断され、免疫チェックポイント阻害薬を用いて治療を行った方(生検施行後に免疫チェックポイント阻害薬を使用した方・免疫チェックポイント阻害薬使用により切除可能となり腎摘除を行った方)を対象とします。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者背景(生年月日、性別)、診察情報</li> <li>・検査結果(血液検査、尿検査、画像検査、病理学的検査)</li> <li>・治療内容</li> <li>・病理組織診断結果、治療経過</li> <li>・有害事象</li> <li>・病理組織標本</li> </ul>
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関長崎大学病院泌尿器科に頂いた試料・情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	長崎大学病院 泌尿器科 責任者 酒井 英樹 東京慈恵会医科大学附属柏病院 泌尿器科 責任者 三木 淳 がん研有明病院 泌尿器科 責任者 米瀬 淳二 医仁会武田総合病院 泌尿器科 責任者 寒野 徹 大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 山崎 健史
試料・情報を管理する責任者	長崎大学病院 泌尿器科 酒井 英樹
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 山崎 健史 電話番号：(06) 6645-3857